

題材名：自分にとっての適切な衣服の選択をしよう

指導者 呉市立広中央中学校 三浦 圭太郎

日 時 令和6年〇月〇日（〇） 〇時〇分～〇時〇分

場 所 呉市立広中央中学校 1年〇組教室

学 年 第1学年〇組

題材について

本題材は、中学校学習指導要領 技術・家庭編家庭分野 B 衣食住の生活（4）「衣服の選択と手入れ」ア（ア）及びイとの関連を図っている。ここでは、衣服の選択について、衣服と社会生活との関わりについて理解し、衣服の選択に関する基礎的・基本的な知識及び技能を身に付けるとともに、日本の伝統的な衣服である和服の特徴や着装、これからの自分たちとの関わり方について取り上げ考えさせることで、「生活文化の継承・創造」の視点から、課題を解決する力や衣服の選択について工夫し創造しようとする実践的な態度を育成することをねらいとしている。

生徒の実態について

第1学年4クラスの生徒114人に行った衣生活に関するアンケートでは、「自分で着用する服は自分で選んで購入しているか。」という質問に対して「ほとんど自分で選んで購入している。」と答えた生徒は30.7%で、「自分で購入することもあればそうでないときもある。」と答えた生徒は50%、「ほとんど自分で購入していない。」と答えた生徒は19.3%だった。また、「自分の着る服（私服）の組み合わせは自分で選んでいるか。」という質問に対して「ほとんど自分で選んでいる。」と答えた生徒は82%、「自分で選ぶときもあればそうでないときもある。」と答えた生徒は17.5%、「ほとんど自分で選んでいない。」と答えた生徒は0.5%だった。この結果から、衣服の選択については購入された衣服を自分で組み合わせて着用する生徒が多いということが分かる。

さらに、和服に関するアンケートでは、「今までに和服（浴衣や着物など）を着用したことがあるか。」という質問に対して、「ある」と答えた生徒は87.9%だったが、「自宅に自分の和服（浴衣や着物など）があるか。」という質問に対して「ある」と答えた生徒は55%、「どれくらいの頻度で和服（浴衣や着物など）を着用するか。」という質問で「1年に1回以上」と答えた生徒は33.3%だった。このことから、和服を着た経験はある生徒が多いが、和服に触れる機会が少ないことが分かる。

指導改善のポイント

【本題材に関わる指導の工夫】

①生活の営みに係る見方・考え方の視点を取り入れた授業の展開

生活の営みに係る見方・考え方の視点の一つである「生活文化の継承・創造」として自分たちと日本の伝統的な衣服である和服との関わりを考えさせることで生活文化を継承する大切さに気付かせるようにする。

②実物を用いた授業の展開

目的に応じた着用や衣服の選択について生活の中での実践ができるように、衣服の表示の調査や、日常の場面を設定し、衣服の選択について考察する活動を取り入れる。

和服の構造を理解するために折り紙を用いてミニ和服の製作を行ったり、基本的な着装について理解するために和服を実際に着たりすることで洋服と比較しやすいようにする。

③ ICT端末の活用

写真や動画など視覚的な教材を取り入れ、生徒がより理解しやすいようにする。

生徒が考えをまとめる際は、ICT端末を活用し、班やクラスでの共有ができるようにする。

④ 学び合い

個人思考の後に班で意見交流したり、班で作業をしたりすることで、思考を深める学習活動を行う。考えたことをまとめ、発表する際は、班での取組を振り返って評価し、改善方法を考えさせ、課題を解決させる力を身に付けさせる。

【題材の目標】

- ・衣服と社会生活との関わりが分かり、目的に応じた着用、個性を生かす着用及び衣服の適切な着用について理解する。
- ・衣服の選択について問題を見出して課題を設定し、解決策を構想し、実践を評価・改善し、考察したことを論理的に表現するなどして課題を解決する力を身に付ける。
- ・衣服の選択について、課題の解決に主体的に取り組んだり、振り返って改善したりして、生活を工夫し創造し、実践しようとする。

【評価規準】

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
衣服と社会生活との関わりが分かり、目的に応じた着用、個性を生かす着用及び衣服の適切な着用について理解している。	衣服の選択について問題を見出して課題を設定し、解決策を構想し、実践を評価・改善し、考察したことを論理的に表現するなどして課題を解決する力を身に付けている。	衣服の選択について、課題の解決に主体的に取り組んだり、振り返って改善したりして、生活を工夫し創造し、実践しようとしている。

【指導と評価の計画】

時	学習内容	観点別評価規準			評価規準（評価方法） ※記録に残す評価
		知	思	態	
1	衣服の働き ・なぜ、私たちは衣服を着るのかを考え、話し合う。 ・保健衛生上や生活活動上の働きを確認する。 ・社会生活上の働きについて理解する。	○			・衣服と社会生活との関わりについて理解している。（定期試験）
2	衣服の目的に応じた着用 ・視覚的な教材からT.P.Oに応じたふさわしい着方について理解する。 ・設定した季節や場面に合った服装を考え、発表する。	○			・衣服の目的に応じた着用について理解している。（定期試験）
3	自分らしい衣服の着用 ・視覚的な教材から衣服で印象が変わることを理解する。 ・Myコーディネートを考え、発表する。	○			・個性を生かす衣服の着用について理解している。（定期試験）
4	衣服の適切な選択 ・衣服の組成表示や取扱表示等、衣類の様々な表示について調べる。 ・計測方法を理解し、自分のサイズを確認する。 ・衣服を選択、購入する際のポイントをまとめ、発表する。	○			・衣服の適切な着用について理解している。（定期試験）
5	日本の衣文化 ・世界の民族衣装について調べ、発表する。 ・和服の種類、文様、織り、染めを理解する。 ・班になり、折り紙を用いてミニ和服を作り、和服と洋服の構造の違いを考え、まとめる。 ・和服と洋服の構造や着方を比較し、和服の背景には日本の四季や自然環境が関わっていることに気付く。 ・実際に和服の着付けを見て、和服の知恵について理解する。	○			・日本の衣文化について理解している。（定期試験）
6 (本時)	日本の衣文化の課題 ・様々な行事や場面の写真から和服が日本の伝統的な衣服であることを確認する。 ・事前アンケートの結果から、和服に触れる機会が少ないことを理解する。 ・和服のメリット・デメリットを考える。 ・私たちはなぜ日本の衣文化である和服を着ないのか問題を見だし、課題を設定する。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>課題例</p> <ul style="list-style-type: none"> ・着物の簡単な着用の仕方はないだろうか ・着物を着たらどのような動作が困るか ・着物を着る機会はいつだろうか ・着物はなぜ高いのか </div>		○		※衣服の選択について問題を見いだして課題を設定している。（ワークシート、行動観察）

	<p>・設定した課題を班で共有し、班で取り組む課題を1つに絞り、解決するための方法を考える。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <p>解決方法例</p> <ul style="list-style-type: none"> ・着物の簡単な着用の仕方とそのコツの調査 ・着物を着用した日常動作の調査と動き方の実践 ・着物を着る機会の調査とT. P. Oに合わせた着方 ・着物の高い理由と安く手に入れる方法の調査 </div>				
7	<p>日本の衣文化の課題解決に向けた調査活動</p> <p>・前時に設定した課題を解決するために必要な情報を考え、各自で収集する。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <p>情報収集の方法例</p> <ul style="list-style-type: none"> ・文献で調べる ・インターネットで調べる ・和服を着て、様々な動きを実践する </div> <p>・集めた情報を各自でワークシートに整理する。</p> <p>・情報収集による調査結果を各自でまとめる。</p> <p>・調査結果を班でまとめ、発表資料（プレゼンテーションソフト）に分かりやすくまとめる。</p>		○	○	<p>・衣服の選択についての課題の解決に主体的に取り組もうとしている。（振り返りカード）</p> <p>※衣服の選択について考え、工夫している。（ワークシート）</p> <p>※衣服の選択についてまとめ、評価したり、改善したりしている。（ワークシート）</p>
8	<p>日本の衣文化の課題とその解決策の発表</p> <p>・ICTを活用し、前時にまとめた資料を使い、発表を行う。</p> <p>・他者の意見や他の班の情報も踏まえながら、これからの自分たちと和服との関わり方として、今まで継承されてきた日本の衣文化の良さや継承する意味について自分の考えを述べる。</p>		○	○	<p>・衣服の選択についての課題解決に向けた一連の活動について、考察したことを班でまとめ、論理的に表現している。（レポート）</p> <p>・衣服の選択について、課題解決に向けた一連の活動を振り返って改善しようとしている。（振り返りカード）</p>
9	<p>これからの自分たちと衣生活</p> <p>・これまでの学習から、よりよい衣生活を営むためにどうすればよいか自分の意見をまとめる。</p> <p>・よりよい衣生活の実現に向けて、これから実践したいことを考える。</p> <p>・まとめたことを班で発表し合い、互いのアドバイスを活かして、今後の取組についてまとめる。</p>			○	<p>・よりよい衣生活の実現に向けて、衣生活の選択について工夫し創造し、実践しようとしている。（長期休暇課題）</p>

本時の学習

(1) 本時の目標

私たちはなぜ日本の衣文化である和服を着ないのか考え、課題を設定することができる。

(2) 本時の学習展開

学習活動	指導上の留意事項 (◇) (◆は「努力を要する」状況と判断した生徒への指導の手立て)	評価規準 (評価方法) ◎主の評価
1. 本時のめあての確認 (1.0分)		
<p>【生徒の気付き】 日本の衣文化の和服ってすごいな。でも、着る人が減り続けている。</p> <p>本時のめあてを確認し、見通しを持つ。</p>	<p>問い 私たちはなぜ日本の衣文化である和服を着ないのか</p> <p style="text-align: center;">導入の工夫</p> <p>様々な行事や場面で和服を着ている写真を見せ、和服が日本の伝統的な衣服であることに気付かせる。 事前アンケートを提示し、和服の着用回数や着用機会が少ないことに気付かせる。</p> <p>めあて 日本の伝統文化である和服を着ないのはなぜか考えることができる。</p>	
2. 課題の設定と解決策の検討 (3.0分)		
和服のメリットとデメリットについて考え、発表する。	◇和服のメリットとデメリットをできるだけ多く考えさせ、発表させる。	
主発問 日本の衣文化である和服はどのような課題があるから着ないのか		
<p>なぜ和服を着ないのか問題を見だして、課題を考える。</p> <p style="text-align: center;">個人思考</p>	<p>◇和服を着ない理由をできるだけ多く考えさせる。</p> <p>◇着ない理由について「なぜ」の質問を繰り返し、課題を設定させる。</p> <p>◆メリットとデメリットを参考にしながら、自分は何で和服を着ないのかを考えさせ、理由にすることを助言する。和服と洋服の比較をさせる。</p>	◎衣服の選択について問題を見だして課題を設定している。 【思・判・表】 (ワークシート、行動観察)
<p>例 ((A) 及び (B) については本時の資質・能力ルーブリックに対応)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「家がない」→「なぜ家がないのか (B)」→「どのようにして手入れや管理をするのか (A)」 ・「値段が高いから」→「なぜ高いのだろうか (B)」→「どのようなものを使ってどのように作っているのか (A) どうすれば安くできるか、高くても買うだろうか (A)」 ・「着用しにくいから」→「なぜ着用しにくいのだろうか (B)」→「簡単な着用の仕方はないだろうか (A) 洋服と比べて何がどう着用しにくいのか (A)」 ・「動きにくい」→「なぜ動きにくいのか (B)」→「どのような動作が困るか、どうすれば動きやすくなるか。(A)」 ・「着る機会がない」→「なぜ着る機会がないのか (B)」→「着る機会はいつだろうか、どのようなときに自分たちは着ることができるだろうか。(A)」 		

<p>班でなぜ和服を着ないのか考えたことを交流し、課題を設定する。</p> <p style="text-align: center;">集団思考</p> <p>設定した課題を解決するためにどのようなことを調べる必要があるか考える。</p> <p>班で設定した課題とその解決方法を発表する。</p>	<p>◇各自が考えた課題を班で交流し、班で取り組む課題の一つに絞らせる。</p> <p>◇設定した課題を解決するための方法と調べる内容を考えさせる。</p> <p>◇調べる方法についてはインターネット以外にもあることを伝える。</p> <p>◆調べる内容が分からない場合は検索ワードを単語で考えさせる。</p> <p>◇発表の仕方をあらかじめ提示しておく。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>私たち〇班が設定した課題は「〜〜」です。その課題を解決するために「〜〜」をします。</p> </div>	
--	---	--

3. まとめと振り返り（10分）

<p>本時のまとめをする。</p> <p>学習の振り返りと次時の予告をする。</p>	<p style="text-align: center;">まとめ</p> <p style="text-align: center;">和服文化の継承の重要性と洋服との違い、現代社会との関わりを踏まえながら課題を解決できるように考える。</p> <hr style="border-top: 1px dashed black;"/> <p>◇振り返りカードに振り返りを書かせ、発表させる。</p> <p>◇主発問に対する答えを振り返りカードに書かせ、発表させる。</p> <p>◆できたことや分かったことを書くように促す。</p>	
--	---	--

期待する生徒の振り返り例

和服は着るときに手間がかかるという課題を解決するために、和服の簡単な着方について調べようと思いました。

なぜ日本人は和服を着ないのか考えることができた。設定した課題について考え、調べて解決策を見つけていきたいと思いました。

(3) 本時の資質・能力ルーブリック

【思考・判断・表現】	A	「生活文化の継承・創造」の視点を踏まえて、自分たちと和服との関わり（衣服の選択）について問題を見出して課題を設定できる。
	B	和服のメリット・デメリットを踏まえて、自分たちと和服との関わり（衣服の選択）について問題を見出して課題を設定できる。
	C	自分たちと和服との関わり（衣服の選択）について問題を見いだせず、課題を設定できていない。

題材構想図

＜本質的な問い＞よりよい衣生活を営むためにはどうすればよいか。

【題材を貫く問い】

自分にとっての適切な衣服の選択とは何か

	個別の問い	学習活動
1	人はなぜ服を着るのか。	衣服の働きについて理解する。
2	いつどこでどのようなときにどのような服を着るか。	衣服の目的に応じた着用について理解する。
3	自分らしい衣服の着用とは。	個性を生かす衣服の着用について考え、T・P・Oに応じたコーディネートデザインを考える。
4	どのようなことをポイントに衣服を選ぶか。	衣服の表示、計測、選択、購入について理解する。
5	日本の衣文化とはどのようなものか。	和服の種類、文様、織り、染め、洋服との構造の違いについて理解する。
6・7・8	私たちはなぜ日本の衣文化である和服を着ないのか。	和服を着ない理由について考え、課題を設定し、解決するための方法を考える。
9	これからの自分にとって適切な衣服の選択とは何か。	今まで学んできたことをもとに、これからの自分にとって適切な衣服の選択とは何かを考える。